**大阪府入札監視委員会 第1部会 平成20年度第2回定例会議　議事概要**

１　開催日時　　平成21年2月13日（金）午後1時30分から午後4時30分まで

２　場所　　大阪府立女性総合センター（ドーンセンター） 5階特別会議室

　　　　　　　　　　大阪市中央区大手前一丁目3番49号

３　出席委員　　委員長ほか委員4名

４　審議対象期間　　平成20年8月1日から平成20年11月30日まで

５　会議の概要　　審議対象期間中の入札参加停止の状況、談合情報の処理状況について事務局、担当課から内容の説明を求めた上で審議を行った。

また、大阪府が契約締結した建設工事（予定価格250万円を超えるもの）、測量・建設コンサルタント等業務（予定価格100万円を超えるもの）、委託役務業務（予定価格100万円（物件の借入れについては、80万円）を超えるもの）、物品購入（予定価格160万円を超えるもの）総契約件数1,513件の中から次の13件を委員が任意抽出し、事案ごとに担当の発注部局から入札・契約の過程及び内容の説明を求めた上で審議を行った。

　(1)建設工事

　　【一般競争入札】

　　　・番田排水路地区改修（20）工事（契約金額16,065千円）

　　　・能勢地区整備（20）工事（契約金額13,545千円）

　　　・主要地方道 大阪中央環状線 舗装道補修工事（第8工区）（契約金額8,713千円）

　　　・槇尾川ダム 付替道路建設工事（6号橋上部工）（契約金額162,750千円）

　　　・一級河川 尻無川 尻無川水門掃流設備改修工事（契約金額66,150千円）

　　　・村野浄水場E系2号沈殿池給排水管改良工事（φ200）（契約金額13,354千円）

　　　・送水管理センターほか計算機設備設置工事（契約金額1,564,500千円）

　　　・送水管布設鋼管製作継手工事（φ2400）堺市三原台から堺市晴美台（契約金額287,700千円）

　　【随意契約方式】

　　　・都市計画道路 千里丘三島線 取付道路築造工事（東工区その2）（契約金額139,125千円）

　　　・電動機設備補修工事（その1）（契約金額36,225千円）

　(2)測量・建設コンサルタント等業務

　　　・貨物車交通マネジメント調査委託（その2）（契約金額14,490千円）

　(3)委託役務業務

　　　・堺泉北港大浜地区外 国際埠頭施設保安対策（テロ対策）警備業務（契約金額172,792千円）

　(4)物品購入

　　　・顕微ラマン分光光度計（契約金額30,208千円）

６　審議の結果　　抽出した13件の処理状況は概ね適正であると認める。

７　委員からの質問とそれに対する回答　　別添のとおり

（別 添）

|  |  |
| --- | --- |
| 質問 | 回答 |
| 【番田排水路地区改修（２０）工事】  ○ 何社ぐらいの参加を想定していたのか。  ○ 落札率が高いが、発注条件に問題はないのか。  ○ 現場管理費が高い工事とは思えない。落札率が高いのは、競争がなかったからではないか。 | ○ 昨年度の実績から10 社程度を想定していた。  ○ 落札率が高くなったのは、工事場所が4 箇所に分散していたためと考えている。  ○ 本件の現場管理費の内訳は、仮設費や安全対策費等である。多額ではないが、4 箇所に分散しているため、1 箇所に比べ業者の経費縮減の余地は少なかったと考えている。 |
| 【能勢地区整備（２０）工事】  ○ 何社ぐらいの参加を想定していたのか。 | ○ 入札参加資格を有する業者は、３１社であった。 |
| 【主要地方道 大阪中央環状線 舗装道補修工事（第８工区）】  ○ 前回の監視委員会で、八尾土木事務所発注の舗装工事の発注状況等についての調べをお願いしたが、結果はどうであったか。  ○ その結果を踏まえ、今後どう対応していくのか。 | ○ 平成20 年度の舗装工事の発注状況等について調査したところ、他の土木事務所に比べ、八尾土木事務所においては、1,000 万円未満の小規模な発注が多くその半数以上の業者が下請けに施工させていた。小規模な発注が多いのは、八尾土木事務所管内は、府内で最も交通量が多く、道路損傷も激しいことから、損傷が激しく、通行に危険な区間に絞って補修しているため、工事区間も短く小規模となっている。  ○ 小規模工事（Ｃランク）の地域要件の変更（ブロック分割の見直し）及び隣接工区を合体し発注規模を大きくすること等を平成21 年度に試行実施する。 |
| 【槇尾川ダム付替道路建設工事（６号橋上部工）】  ○ 参加業者数が５社と少なく、うち４社が辞退しているのはなぜか。  ○ 発注の仕方を研究する必要があるのではないか。 | ○ 発注にあたっては、本工事に必要な資格しか求めておらず、工期も余裕を持って設定している。自社工場の稼働状況、予定技術者の配置状況等を勘案し、辞退されたものと推測している。  ○ 今後、入札不参加・辞退の理由について聞き取りを行い、参加資格の工夫を検討する。 |
| 【一級河川尻無川尻無川水門掃流設備改修工事】  ○ １社のみの応札となったのはなぜか。  ○ 何社ぐらいの参加を想定していたのか。  ○ 積算はどのように行ったのか。 | ○ 残念な結果と受け止めている。応札者がこれほど少ないとは想定していなかった。技術者の専任義務があることから業者が取捨選択したものと推測している。  ○ 水道施設工事の登録業者は１５６社あり、機械器具設置工事の登録業者は２６７社あった。参加条件としている２００ミリ以上の口径のポンプの施行実績を有する業者数は把握していなかったが、２００ミリは一般的な口径であるので、かなりの参加があると想定していた。  ○ 配管の敷設については物価版、配管の撤去と水中作業については積算基準に基づいて積算している。 |
| 【村野浄水場Ｅ系２号沈澱池給排水管改良工事（Φ２００）】  ○ 何社ぐらいの参加を想定していたのか。  ○ 入札参加資格が厳しすぎるため参加者が少なく、新規参入もできないのではないか。 | ○ 参加資格を有しているのは、７社である。  ○ 安定給水のため、所要の技術力の確保が必要と考えている。 |
| 【送水管理センターほか計算機設備設置工事】  ○ 何社ぐらいの参加を想定していたのか。  ○ 建設と保守を一体で発注したために参加者が少ないのではないか。  ○ 情報化社会の中で企業も自社だけでなく他社の機械も保守するよう企業戦略を変えている。他社製品を保守できないとの前提は、おかしいのではないか。 | ○ ６社を想定していた。  ○ 設置したメーカでないとできない保守の入札についても競争性を持たせるため一体で発注した。  ○ 今後、情勢変化を注視し、対応を考えていきたい。 |
| 【送水管布設鋼管製作継手工事（Φ２４００）堺市三原台～堺市晴美台】  ○ 価格調査は、どのように行ったのか。  ○ 何社ぐらいの参加を想定していたのか。 | ○ 日本銀行の企業物価指数により、確認した。  ○ ４社から７社を想定していた。 |
| 【都市計画道路 千里丘三島線 取付道路築造工事（東工区その２）】  ○ 指名競争入札の最低価格入札者が契約を締結しなかったのはなぜか。 | ○ 技術者の配置ができなくなったと聞いている。 |
| 【電動機設備補修工事（その１）】  ○ 一般競争入札を行ったときと今回の随意契約と金額は同じか。 | ○ 一般競争入札のときは、落札率は９９％程度であったが、今回の落札率は、９４．４％であった。 |
| 【貨物車交通マネジメント調査委託（その２）】  ○ 何社ぐらいの参加を想定していたのか。 | ○ １６社程度を想定していた。 |
| 【堺泉北港大浜地区外 国際埠頭施設保安対策（テロ対策）警備業務】  ○ 何社ぐらいの参加を想定していたのか。  ○ 予定価格を超える額で応札した業者があるが、落札できないのを承知でこのような額で応札してきたのか。  ○ 積算は適正だったのか。テロ対策で高度な警備が必要ということを加味して積算しているのか。 | ○ １０社程度を想定していた。  ○ そのように理解している。  ○ 通常の施設の警備と同じ単価で積算している。 |
| 【顕微ラマン分光光度計】  ○ 仕様が厳しすぎるのではないか。  ○ 参考機種を示すとその機種を指定することになってしまうのではないか。 | ○ 仕様については、高速で測定を行うことのできる画期的な機種が出たことから、その機種の性能を参考に策定した。しかしながら、競争性を高めるため、当所が業務を行ううえで必要最小限の仕様にとどめ、できるだけ幅広い仕様とした。  ○ 同等品を可としている。 |